

ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第225期（決算日 2025年4月10日）
第226期（決算日 2025年5月12日）
第227期（決算日 2025年6月10日）
第228期（決算日 2025年7月10日）
第229期（決算日 2025年8月12日）
第230期（決算日 2025年9月10日）
(作成対象期間 2025年3月11日～2025年9月10日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の国債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券		
信託期間	無期限（設定日：2006年6月12日）		
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ日本国債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ日本国債マザーファンド	わが国の公社債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配を付加することがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

最近30期の運用実績

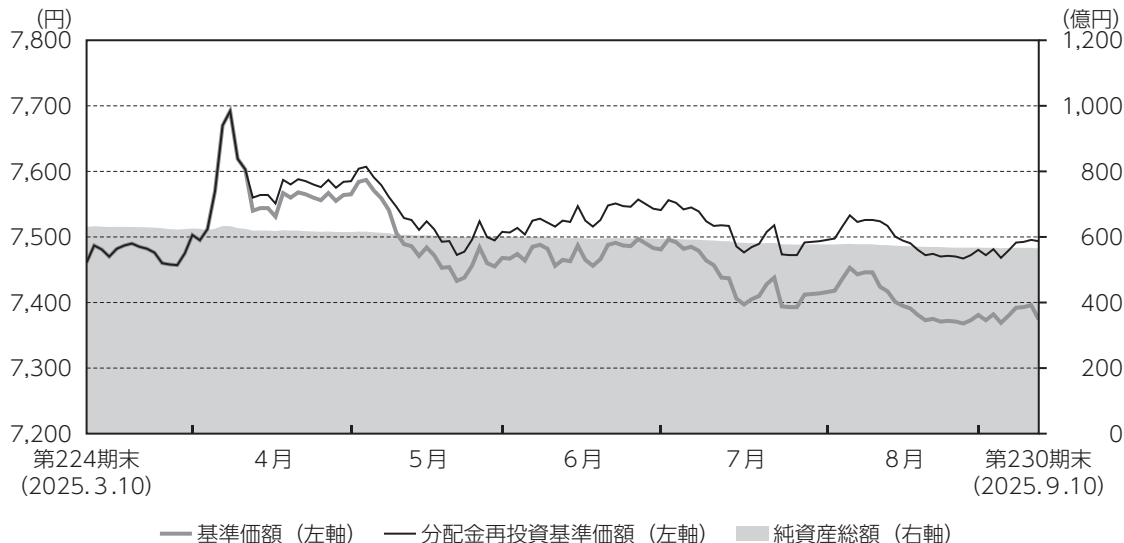
決 算 期	基 準 価 額			ダイワ・ボンド・インデックス (D B I) 国 債 指 数		公 社 債 組 入 比 率	債券先物率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
201期末(2023年 4 月10日)	8,324	20	0.6	12,721	0.9	99.2	－	100,860
202期末(2023年 5 月10日)	8,347	20	0.5	12,802	0.6	99.3	－	100,211
203期末(2023年 6 月12日)	8,329	20	0.0	12,809	0.1	99.1	－	98,788
204期末(2023年 7 月10日)	8,279	20	△0.4	12,755	△0.4	99.2	－	96,805
205期末(2023年 8 月10日)	8,209	20	△0.6	12,606	△1.2	98.8	－	94,919
206期末(2023年 9 月11日)	8,136	20	△0.6	12,472	△1.1	98.7	－	93,126
207期末(2023年10月10日)	8,087	20	△0.4	12,394	△0.6	99.3	－	90,471
208期末(2023年11月10日)	8,032	20	△0.4	12,353	△0.3	99.1	－	88,163
209期末(2023年12月11日)	8,051	20	0.5	12,396	0.4	99.1	－	86,503
210期末(2024年 1 月10日)	8,129	20	1.2	12,595	1.6	99.0	－	86,260
211期末(2024年 2 月13日)	8,054	20	△0.7	12,468	△1.0	98.9	－	82,001
212期末(2024年 3 月11日)	8,019	20	△0.2	12,443	△0.2	98.5	－	80,647
213期末(2024年 4 月10日)	7,989	20	△0.1	12,408	△0.3	99.2	－	79,505
214期末(2024年 5 月10日)	7,909	20	△0.8	12,284	△1.0	99.1	－	77,692
215期末(2024年 6 月10日)	7,835	20	△0.7	12,159	△1.0	99.2	－	75,608
216期末(2024年 7 月10日)	7,798	20	△0.2	12,102	△0.5	98.9	－	74,109
217期末(2024年 8 月13日)	7,895	20	1.5	12,320	1.8	98.6	－	73,503
218期末(2024年 9 月10日)	7,849	20	△0.3	12,292	△0.2	98.9	－	72,147
219期末(2024年10月10日)	7,813	20	△0.2	12,244	△0.4	99.2	－	71,039
220期末(2024年11月11日)	7,776	20	△0.2	12,205	△0.3	99.1	－	69,758
221期末(2024年12月10日)	7,730	20	△0.3	12,171	△0.3	98.9	－	68,340
222期末(2025年 1 月10日)	7,656	20	△0.7	12,078	△0.8	98.9	－	66,832
223期末(2025年 2 月10日)	7,587	20	△0.6	12,020	△0.5	98.6	－	65,057
224期末(2025年 3 月10日)	7,461	20	△1.4	11,772	△2.1	98.5	－	63,070
225期末(2025年 4 月10日)	7,540	20	1.3	11,881	0.9	99.4	－	61,930
226期末(2025年 5 月12日)	7,506	20	△0.2	11,805	△0.6	99.2	－	60,808
227期末(2025年 6 月10日)	7,456	20	△0.4	11,782	△0.2	98.9	－	59,611
228期末(2025年 7 月10日)	7,438	20	0.0	11,727	△0.5	99.2	－	58,734
229期末(2025年 8 月12日)	7,424	20	0.1	11,732	0.0	98.6	－	57,547
230期末(2025年 9 月10日)	7,374	20	△0.4	11,667	△0.6	98.5	－	56,501

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) ダイワ・ボンド・インデックス (D B I) 国債指数 (参考指数) は、同指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
(注 6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第225期首：7,461円

第230期末：7,374円（既払分配金120円）

騰落率：0.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じてわが国の国債に投資した結果、債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		ダイワ・ボンド・インデックス (D B I) 国 債 指 数		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第225期	(期首) 2025年 3月10日	円 7,461	% -	11,772	% -	% 98.5	% -
	3月末	7,503	0.6	11,858	0.7	99.2	-
	(期末) 2025年 4月10日	7,560	1.3	11,881	0.9	99.4	-
第226期	(期首) 2025年 4月10日	7,540	-	11,881	-	99.4	-
	4月末	7,565	0.3	11,921	0.3	99.2	-
	(期末) 2025年 5月12日	7,526	△0.2	11,805	△0.6	99.2	-
第227期	(期首) 2025年 5月12日	7,506	-	11,805	-	99.2	-
	5月末	7,468	△0.5	11,759	△0.4	99.3	-
	(期末) 2025年 6月10日	7,476	△0.4	11,782	△0.2	98.9	-
第228期	(期首) 2025年 6月10日	7,456	-	11,782	-	98.9	-
	6月末	7,481	0.3	11,826	0.4	99.0	-
	(期末) 2025年 7月10日	7,458	0.0	11,727	△0.5	99.2	-
第229期	(期首) 2025年 7月10日	7,438	-	11,727	-	99.2	-
	7月末	7,416	△0.3	11,697	△0.3	98.6	-
	(期末) 2025年 8月12日	7,444	0.1	11,732	0.0	98.6	-
第230期	(期首) 2025年 8月12日	7,424	-	11,732	-	98.6	-
	8月末	7,381	△0.6	11,659	△0.6	98.6	-
	(期末) 2025年 9月10日	7,394	△0.4	11,667	△0.6	98.5	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

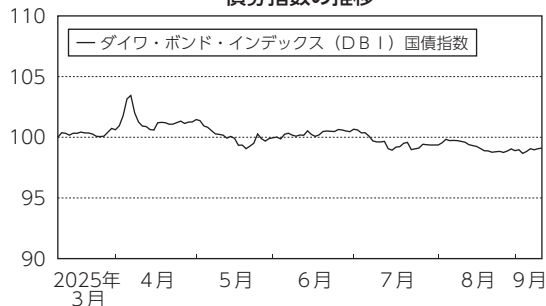
(2025.3.11～2025.9.10)

国内債券市況

国内債券市場では、金利はおおむね横ばいとなりました。

当作成期首より、金利はおおむね横ばいで推移しましたが、2025年4月には、米国の関税政策による景気減速懸念を受けて、金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後は、米国との貿易交渉の進展や参議院議員選挙での与党の過半数割れを受けた財政悪化懸念の高まりなどを背景に、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行います。

ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2025.3.11～2025.9.10)

当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行いました。

ダイワ日本国債マザーファンド

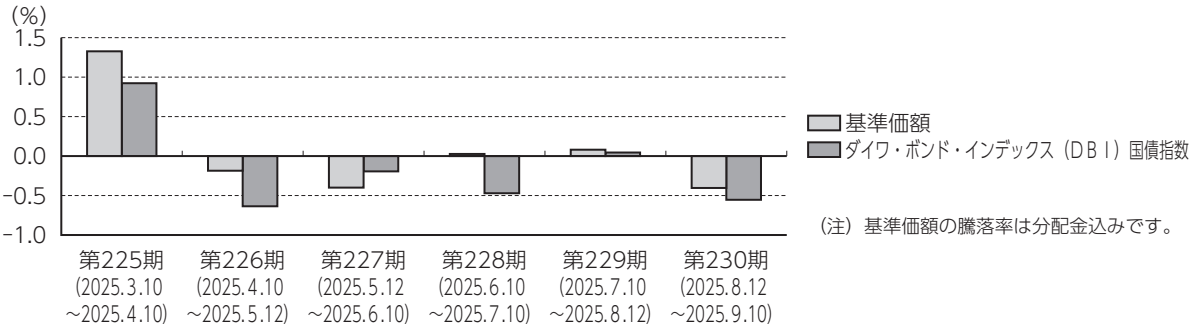
運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して残存15年以上の国債の組み入れがないという特徴があります。参考指数は国内債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第225期	第226期	第227期	第228期	第229期	第230期
	2025年3月11日 ～2025年4月10日	2025年4月11日 ～2025年5月12日	2025年5月13日 ～2025年6月10日	2025年6月11日 ～2025年7月10日	2025年7月11日 ～2025年8月12日	2025年8月13日 ～2025年9月10日
当期分配金（税込み）（円）	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率（％）	0.26	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
当期の収益（円）	13	11	10	10	11	10
当期の収益以外（円）	6	8	9	9	8	9
翌期繰越分配対象額（円）	502	494	484	475	467	457

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計画上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第225期	第226期	第227期	第228期	第229期	第230期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 13.76円	✓ 11.63円	✓ 10.53円	✓ 10.83円	✓ 11.92円	✓ 10.41円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 508.66	✓ 502.43	✓ 494.08	✓ 484.62	✓ 475.47	✓ 467.41
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	522.42	514.07	504.61	495.46	487.40	477.82
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	502.42	494.07	484.61	475.46	467.40	457.82

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行います。

■ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第225期～第230期 (2025.3.11～2025.9.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	12円	0.165%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,470円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.061)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0.088)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	12	0.167	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

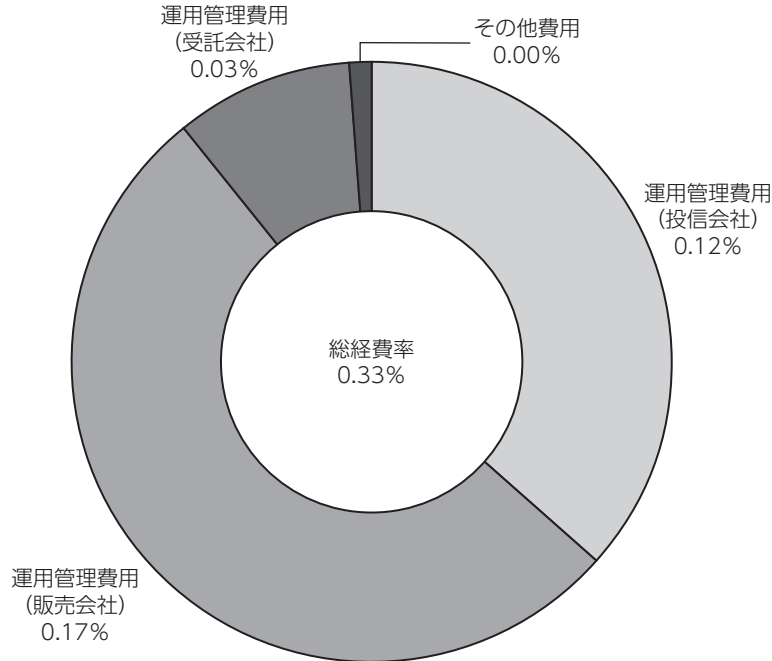
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.33%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年3月11日から2025年9月10日まで)

決 算 期	第 225 期 ～ 第 230 期					
	設 定			解 約		
	□ 数	金 額	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ダイワ日本国債マザーファンド	千口 34,518	千円 41,014	千口 5,936,776	千円 7,068,619		

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月11日から2025年9月10日まで)

決 算 期	第 225 期 ～ 第 230 期					
	買付額等			売付額等		
	A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
区 分						
公社債	百万円 9,428	百万円 2,086	% 22.1	百万円 11,448	百万円 4,790	% 41.8
コール・ローン	49,024	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合90.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月10日)、(2025年5月12日)、(2025年6月10日)、(2025年7月10日)、(2025年8月12日)、(2025年9月10日)現在

項 目	第 225 期 末	第 226 期 末	第 227 期 末	第 228 期 末	第 229 期 末	第 230 期 末
(A) 資産	62,227,905,779円	61,043,159,549円	59,928,709,108円	58,965,860,289円	57,802,678,006円	56,714,407,119円
コール・ローン等	214,973,251	209,575,936	205,520,982	208,394,993	206,947,991	197,625,779
ダイワ日本国債 マザーファンド(評価額)	61,932,759,220	60,814,699,833	59,678,061,069	58,740,706,731	57,550,935,993	56,500,536,327
未収入金	80,173,308	18,883,780	45,127,057	16,758,565	44,794,022	16,245,013
(B) 負債	297,191,668	234,177,132	317,435,592	231,102,484	255,618,139	213,249,260
未払収益分配金	164,273,960	162,017,735	159,897,082	157,933,965	155,035,685	153,237,131
未払解約金	115,120,533	53,945,499	141,204,372	56,292,872	82,339,370	43,955,132
未払信託報酬	17,613,291	17,837,542	15,780,235	16,133,534	17,295,035	14,920,842
その他未払費用	183,884	376,356	553,903	742,113	948,049	1,136,155
(C) 純資産総額(A－B)	61,930,714,111	60,808,982,417	59,611,273,516	58,734,757,805	57,547,059,867	56,501,157,859
元本	82,136,980,482	81,008,867,575	79,948,541,265	78,966,982,656	77,517,842,580	76,618,565,975
次期繰越損益金	△20,206,266,371	△20,199,885,158	△20,337,267,749	△20,232,224,851	△19,970,782,713	△20,117,408,116
(D) 受益権総口数	82,136,980,482口	81,008,867,575口	79,948,541,265口	78,966,982,656口	77,517,842,580口	76,618,565,975口
1万口当り基準価額(C/D)	7,540円	7,506円	7,456円	7,438円	7,424円	7,374円

※当作成期首における元本額は84,538,983,650円、当作成期間（第225期～第230期）中における追加設定元本額は722,734,348円、同解約元本額は8,643,152,023円です。

※第230期末の計算口数当りの純資産額は7,374円です。

※第230期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,117,408,116円です。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第224期末	第 230 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ日本国債マザーファンド	53,497,688	47,595,431	56,500,536

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月10日現在

項 目	第 230 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ日本国債マザーファンド	56,500,536	99.6
コール・ローン等、その他	213,870	0.4
投資信託財産総額	56,714,407	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■損益の状況

第225期 自2025年3月11日 至2025年4月10日 第228期 自2025年6月11日 至2025年7月10日
 第226期 自2025年4月11日 至2025年5月12日 第229期 自2025年7月11日 至2025年8月12日
 第227期 自2025年5月13日 至2025年6月10日 第230期 自2025年8月13日 至2025年9月10日

項 目	第 225 期	第 226 期	第 227 期	第 228 期	第 229 期	第 230 期
(A) 配当等収益	20,377円	21,328円	18,316円	19,203円	23,307円	18,690円
受取利息	20,377	21,328	18,316	19,203	23,307	18,690
(B) 有価証券売買損益	833,500,046	△ 91,226,253	△ 225,760,799	29,455,218	63,052,196	△ 209,481,764
売買益	846,660,019	3,165,659	3,938,932	32,005,615	66,451,911	4,129,761
売買損	△ 13,159,973	△ 94,391,912	△ 229,699,731	△ 2,550,397	△ 3,399,715	△ 213,611,525
(C) 信託報酬等	△ 17,797,175	△ 18,030,014	△ 15,957,782	△ 16,321,744	△ 17,500,971	△ 15,108,948
(D) 当期損益金(A+B+C)	815,723,248	△ 109,234,939	△ 241,700,265	13,152,677	45,574,532	△ 224,572,022
(E) 前期繰越損益金	△15,989,774,698	△15,060,412,060	△15,046,987,259	△15,163,034,515	△14,922,516,098	△14,767,127,882
(F) 追加信託差損益金	△ 4,867,940,961	△ 4,868,220,424	△ 4,888,683,143	△ 4,924,409,048	△ 4,938,805,462	△ 4,972,471,081
(配当等相当額)	(4,178,021,658)	(4,070,174,717)	(3,950,115,676)	(3,826,970,292)	(3,685,814,129)	(3,581,263,150)
(売買損益相当額)	(△ 9,045,962,619)	(△ 8,938,395,141)	(△ 8,838,798,819)	(△ 8,751,379,340)	(△ 8,624,619,591)	(△ 8,553,734,231)
(G) 合計(D+E+F)	△20,041,992,411	△20,037,867,423	△20,177,370,667	△20,074,290,886	△19,815,747,028	△19,964,170,985
(H) 収益分配金	△ 164,273,960	△ 162,017,735	△ 159,897,082	△ 157,933,965	△ 155,035,685	△ 153,237,131
次期繰越損益金(G+H)	△20,206,266,371	△20,199,885,158	△20,337,267,749	△20,232,224,851	△19,970,782,713	△20,117,408,116
追加信託差損益金	△ 4,919,172,896	△ 4,935,956,853	△ 4,964,335,706	△ 4,996,801,516	△ 5,001,376,803	△ 5,045,923,910
(配当等相当額)	(4,126,789,723)	(4,002,438,288)	(3,874,463,113)	(3,754,577,824)	(3,623,242,788)	(3,507,810,321)
(売買損益相当額)	(△ 9,045,962,619)	(△ 8,938,395,141)	(△ 8,838,798,819)	(△ 8,751,379,340)	(△ 8,624,619,591)	(△ 8,553,734,231)
繰越損益金	△15,287,093,475	△15,263,928,305	△15,372,932,043	△15,235,423,335	△14,969,405,910	△15,071,484,206

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 225 期	第 226 期	第 227 期	第 228 期	第 229 期	第 230 期
(a) 経費控除後の配当等収益	113,042,025円	94,281,306円	84,244,519円	85,541,497円	92,464,344円	79,784,302円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,178,021,658	4,070,174,717	3,950,115,676	3,826,970,292	3,685,814,129	3,581,263,150
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	4,291,063,683	4,164,456,023	4,034,360,195	3,912,511,789	3,778,278,473	3,661,047,452
(f) 分配金	164,273,960	162,017,735	159,897,082	157,933,965	155,035,685	153,237,131
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	4,126,789,723	4,002,438,288	3,874,463,113	3,754,577,824	3,623,242,788	3,507,810,321
(h) 受益権総口数	82,136,980,482□	81,008,867,575□	79,948,541,265□	78,966,982,656□	77,517,842,580□	76,618,565,975□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 225 期	第 226 期	第 227 期	第 228 期	第 229 期	第 230 期
1万口当り分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

 2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ日本国債マザーファンド」の決算日（2025年3月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第230期の決算日（2025年9月10日）現在におけるダイワ日本国債マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ日本国債マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年3月11日から2025年9月10日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
32 30年国債 2.3% 2040/3/20		4,476,178	24 30年国債 2.5% 2036/9/20		2,379,912
28 30年国債 2.5% 2038/3/20		1,826,344	29 30年国債 2.4% 2038/9/20		1,911,356
110 20年国債 2.1% 2029/3/20		1,041,170	20 30年国債 2.5% 2035/9/20		984,321
94 20年国債 2.1% 2027/3/20		614,706	95 20年国債 2.3% 2027/6/20		830,091
116 20年国債 2.2% 2030/3/20		525,906	88 20年国債 2.3% 2026/6/20		712,453
18 30年国債 2.3% 2035/3/20		319,884	12 30年国債 2.1% 2033/9/20		426,289
86 20年国債 2.3% 2026/3/20		304,005	101 20年国債 2.4% 2028/3/20		417,652
14 30年国債 2.4% 2034/3/20		216,606	140 20年国債 1.7% 2032/9/20		415,278
134 20年国債 1.8% 2032/3/20		103,841	16 30年国債 2.5% 2034/9/20		330,068
			26 30年国債 2.4% 2037/3/20		323,233

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年9月10日現在におけるダイワ日本国債マザーファンド（52,702,754千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2025年9月10日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 58,970,000	千円 61,596,991	% 98.5	% －	% 65.7	% 19.7	% 13.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年9月10日現在						
区 分		銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券			%	千円	千円	
		86 20年国債	2.3000	3,700,000	3,733,781	2026/03/20
		88 20年国債	2.3000	360,000	364,593	2026/06/20
		94 20年国債	2.1000	4,000,000	4,080,560	2027/03/20
		101 20年国債	2.4000	3,960,000	4,109,925	2028/03/20
		110 20年国債	2.1000	4,000,000	4,152,440	2029/03/20
		1 30年国債	2.8000	650,000	694,726	2029/09/20
		116 20年国債	2.2000	3,200,000	3,356,640	2030/03/20
		121 20年国債	1.9000	1,300,000	1,349,517	2030/09/20
		125 20年国債	2.2000	2,600,000	2,744,560	2031/03/20
		130 20年国債	1.8000	1,500,000	1,552,740	2031/09/20
		134 20年国債	1.8000	2,500,000	2,588,350	2032/03/20
		140 20年国債	1.7000	1,700,000	1,747,702	2032/09/20
		143 20年国債	1.6000	2,300,000	2,345,655	2033/03/20
		12 30年国債	2.1000	1,700,000	1,792,956	2033/09/20
		14 30年国債	2.4000	2,100,000	2,263,296	2034/03/20
		16 30年国債	2.5000	2,000,000	2,170,180	2034/09/20
		18 30年国債	2.3000	1,800,000	1,919,952	2035/03/20
		20 30年国債	2.5000	1,800,000	1,951,740	2035/09/20
		22 30年国債	2.5000	2,000,000	2,164,020	2036/03/20
		26 30年国債	2.4000	3,900,000	4,152,993	2037/03/20
		28 30年国債	2.5000	3,800,000	4,051,066	2038/03/20
		30 30年国債	2.3000	4,000,000	4,127,680	2039/03/20
	32 30年国債	2.3000	4,100,000	4,181,918	2040/03/20	
合 計	銘 柄 数 金 額	23銘柄		58,970,000	61,596,991	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ日本国債マザーファンド

運用報告書 第20期（決算日 2025年3月10日）

（作成対象期間 2024年3月12日～2025年3月10日）

ダイワ日本国債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

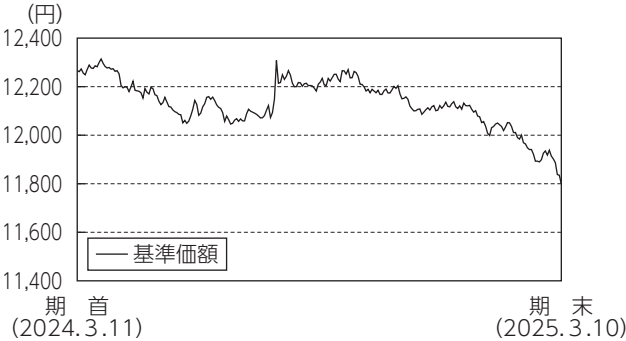
運用方針	わが国の国債を投資対象とし、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の公社債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		ダイワ・ボンド・インデックス(DBI)国債指数		公 社 債 組入比率	債券先物比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2024年 3月11日	12,266	—	12,297	—	98.5	—
3月末	12,296	0.2	12,329	0.3	99.4	—
4月末	12,192	△0.6	12,181	△0.9	99.4	—
5月末	12,049	△1.8	11,975	△2.6	99.0	—
6月末	12,079	△1.5	12,007	△2.4	98.9	—
7月末	12,073	△1.6	11,995	△2.5	98.9	—
8月末	12,203	△0.5	12,141	△1.3	98.4	—
9月末	12,236	△0.2	12,177	△1.0	99.3	—
10月末	12,201	△0.5	12,112	△1.5	99.0	—
11月末	12,122	△1.2	12,026	△2.2	98.8	—
12月末	12,101	△1.3	12,012	△2.3	98.9	—
2025年 1月末	12,011	△2.1	11,923	△3.0	98.9	—
2月末	11,938	△2.7	11,840	△3.7	98.5	—
(期末)2025年 3月10日	11,799	△3.8	11,633	△5.4	98.4	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、同指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
(注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,266円 期末：11,799円 騰落率：△3.8%

【基準価額の主な変動要因】

主としてわが国の国債に投資した結果、金利の上昇により投資している債券の価格が下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 国内債券市況

国内債券市場では、金利は上昇 (債券価格は下落) しました。

国内債券市場では、当作成期首より、日銀のマイナス金利政策解除と短長金利操作の撤廃を背景に、金利は上昇しました。2024年7月に日銀は追加利上げを決定しましたが、その後は、米国金利の低下 (債券価格は上昇) を受けて国内金利は低下しました。10月以降は、米国金利の上昇や衆議院議員選挙の結果を受けて財政支出拡大が意識されたことにより、国内金利は上昇しました。当作成期末にかけては、2025年1月に日銀が追加利上げを実施したことを受けて、金利はさらに上昇しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間 (残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分) の各投資金額がほぼ同程度となるような運用 (ラダー型運用) を行ってまいります。

◆ ポートフォリオについて

運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間 (残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分) の各投資金額がほぼ同程度となるような運用 (ラダー型運用) を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して残存15年以上の国債の組み入れがないという特徴があります。参考指数は国内債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間 (残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分) の各投資金額がほぼ同程度となるような運用 (ラダー型運用) を行ってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債
(2024年3月12日から2025年3月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 14,852,504	千円 24,208,012 (4,863,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債
(2024年3月12日から2025年3月10日まで)

当			期		
買 付			売 付		
銘 柄	金 額		銘 柄	金 額	
	千円			千円	
30 30年国債 2.3% 2039/3/20	5,137,470		27 30年国債 2.5% 2037/9/20	3,354,571	
26 30年国債 2.4% 2037/3/20	2,756,280		106 20年国債 2.2% 2028/9/20	2,140,627	
14 30年国債 2.4% 2034/3/20	2,199,863		16 30年国債 2.5% 2034/9/20	1,840,587	
18 30年国債 2.3% 2035/3/20	1,690,060		1 30年国債 2.8% 2029/9/20	1,435,044	
101 20年国債 2.4% 2028/3/20	1,611,327		130 20年国債 1.8% 2031/9/20	1,290,888	
22 30年国債 2.5% 2036/3/20	578,255		24 30年国債 2.5% 2036/9/20	1,272,531	
125 20年国債 2.2% 2031/3/20	335,178		19 30年国債 2.3% 2035/6/20	1,269,488	
110 20年国債 2.1% 2029/3/20	325,305		20 30年国債 2.5% 2035/9/20	1,267,559	
116 20年国債 2.2% 2030/3/20	110,515		15 30年国債 2.5% 2034/6/20	1,252,211	
143 20年国債 1.6% 2033/3/20	108,251		80 20年国債 2.1% 2025/6/20	1,217,518	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	当			期			
区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	65,022,000	68,119,929	98.4	—	65.8	19.5	13.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

		当		期		末	
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日		
国債証券	75 20年国債	%	千円 3,374,000	千円 3,375,450	2025/03/20		
	80 20年国債	2.1000	1,173,000	1,178,501	2025/06/20		
	86 20年国債	2.3000	3,400,000	3,457,256	2026/03/20		
	88 20年国債	2.3000	1,060,000	1,081,253	2026/06/20		
	94 20年国債	2.1000	3,600,000	3,689,568	2027/03/20		
	95 20年国債	2.3000	805,000	830,599	2027/06/20		
	101 20年国債	2.4000	4,360,000	4,546,520	2028/03/20		
	110 20年国債	2.1000	3,300,000	3,431,142	2029/03/20		
	1 30年国債	2.8000	950,000	1,019,445	2029/09/20		
	116 20年国債	2.2000	2,800,000	2,941,736	2030/03/20		
	121 20年国債	1.9000	1,600,000	1,661,504	2030/09/20		
	125 20年国債	2.2000	2,600,000	2,750,696	2031/03/20		
	130 20年国債	1.8000	1,800,000	1,863,684	2031/09/20		
	134 20年国債	1.8000	2,400,000	2,487,648	2032/03/20		
	140 20年国債	1.7000	2,100,000	2,159,073	2032/09/20		
	143 20年国債	1.6000	2,300,000	2,341,630	2033/03/20		
	12 30年国債	2.1000	2,100,000	2,214,513	2033/09/20		
	14 30年国債	2.4000	1,900,000	2,048,124	2034/03/20		
	16 30年国債	2.5000	2,300,000	2,497,984	2034/09/20		
	18 30年国債	2.3000	1,500,000	1,599,690	2035/03/20		
	20 30年国債	2.5000	2,700,000	2,925,531	2035/09/20		
	22 30年国債	2.5000	2,000,000	2,164,620	2036/03/20		
	24 30年国債	2.5000	2,200,000	2,378,816	2036/09/20		
	26 30年国債	2.4000	4,200,000	4,489,002	2037/03/20		
	28 30年国債	2.5000	2,400,000	2,581,320	2038/03/20		
	29 30年国債	2.4000	1,800,000	1,909,188	2038/09/20		
	30 30年国債	2.3000	4,300,000	4,495,435	2039/03/20		
合計	銘柄数 金 額	27銘柄		65,022,000	68,119,929		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月10日現在

項 目	当	期	末
	評 価 額	比	率
公社債	千円 68,119,929	% 98.4	
コール・ローン等、その他	1,133,912	1.6	
投資信託財産総額	69,253,842	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,253,842,432円
コール・ローン等	149,681,405
公社債(評価額)	68,119,929,990
未収入金	319,360,000
未収利息	662,050,493
前払費用	2,820,544
(B) 負債	42,600,220
未払解約金	42,600,220
(C) 純資産総額(A－B)	69,211,242,212
元本	58,659,943,791
次期繰越損益金	10,551,298,421
(D) 受益権総口数	58,659,943,791口
1万口当り基準価額(C／D)	11,799円

* 期首における元本額は71,907,254,087円、当作成期間中における追加設定元本額は577,869,146円、同解約元本額は13,825,179,442円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

安定重視ポートフォリオ (奇数月分配型)	247,229,655円
6資産バランスファンド (分配型)	211,963,278円
6資産バランスファンド (成長型)	173,086,169円
ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)	53,497,688,677円
ダイワ日本国債ファンド (年1回決算型)	4,529,976,012円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,799円です。

■損益の状況

当期 自2024年 3月12日 至2025年 3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,598,213,663円
受取利息	1,598,214,469
支払利息	△ 806
(B) 有価証券売買損益	△ 4,525,645,560
売買益	5,836,000
売買損	△ 4,531,481,560
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 2,927,431,897
(D) 前期繰越損益金	16,294,288,893
(E) 解約差損益金	△ 2,939,757,767
(F) 追加信託差損益金	124,199,192
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	10,551,298,421
次期繰越損益金(G)	10,551,298,421

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。